



R3 年度小学校英語授業づくりプロジェクト (第 2 回目研修)

私の授業実践⑫ ～天草市立本渡東小学校 竹内 礼子先生～

5 年 単元名「I want to go to Italy.」

- 中心となる領域別目標 「話すこと〔発表〕」(1)
- 単元を通した学習課題

自分が行きたい国の魅力をゲストティーチャーに伝えるために、そこでできることなどを伝えよう。

- 本時の目標 (3/8)

世界の国でできることを、河浦小学校の 5 年生に伝えることができる。

ICT を活用した遠隔交流授業により言語活動の充実を図る！

小学校学習指導要領では、外国語科の指導における ICT 活用について、「視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、児童の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図るようにすること」と示されています。

今回、竹内先生は ICT を活用した遠隔交流授業に取り組みました。交流の相手は、同じ天草市内の河浦小学校 5 年生です。班ごとに、紹介する国を決め、その国でできることなどをクイズ形式で出し合うという活動でした。オンラインでの対話は、対面に比べるとより相手意識が求められます。実際にクイズを出し合う場面では、写真や絵の示し方、クイズの出し方、さらには話し方などに子供たちなりの工夫が見られました。

実は、河浦小学校とのオンラインによる交流授業は、今回で 2 回目とのこと。竹内先生のお話では、1 回目の交流で、交流先の河浦小学校の子供たちの発表を聞いた際、発表の仕方や内容にとっても工夫が見られ、本校の子供たちが大変刺激を受けたこと、この経験が今回の交流授業に向けた動機付けとなり、子供たちが主体的に発表の準備や工夫をすることにつながったとのことでした。オンラインで他校の子供たちと言語活動を行う取組が、子供たちの学習意欲を高めるだけでなく、学び方を学ぶことにつながっていることに遠隔交流授業の可能性を感じた今回の実践でした。

また、今回の実践は、天草市教育委員会により本渡東小学校と河浦小学校との調整が図られ、両校の校長先生のご理解により交流授業が実現したとのことでした。このような取組は、ICT 活用による授業改善にとどまらず、小小連携、小中連携推進の視点からも非常に期待が持てる事例です。各地域、各学校における ICT 活用及び小小、小中連携の具体的取組として、ぜひ参考にさせていただきたいと思っております。



ALT のダリル先生とのデモンストレーション



河浦小学校の発表を聞く児童の様子

小学校英語授業映像資料 (授業動画コンテンツ) 配信中！

センターHPはこちら

県内の小学校英語教育推進リーダーの先生方による授業動画を配信しています。県立教育センターHP (<https://www.higo.ed.jp/center/kensyuu/online>) より視聴可能です。小学校外国語 (活動) の授業づくりのヒントがたくさん詰まっていますので、ぜひご活用ください。

※視聴手順 (以下の手順で受講画面に移動してください)

- ①受講するをクリック→②メールアドレス (kuma 教職員番号@gacco.org) →③公開講座 (全教職員対象) を選択

